

国語科学習指導案

- 1 日時 令 [REDACTED]
- 2 場所 3年生教室
- 3 学年 3学 [REDACTED]
- 4 単元名 詩の紹介文を書こう 挨拶～原爆の写真によせて 他5編
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の「C読むこと」の指導事項「ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと」「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること」「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」、「B書くこと」の「イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと」「エ 書いた文章を読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して表現に役立てること」を受けて設定したものである。「挨拶～原爆の写真によせて」は、原爆の悲惨さを描きながらも、過去を忘れ、安穏と暮らしている私達を危惧し、警鐘を唱える内容である。この詩の他に、峠三吉、原民喜、栗原貞子の詩5編を取り上げ、石垣りんを含んだそれぞれの作者が、原爆をどうとらえ、詩を通して何を訴えかけているのか読み比べていく。現代を生きる私達への問題提起とも言える内容を受け止め、平和について考え、自分の意見を持つきっかけとなる単元である。

(2) 生徒観

(3) 指導観

授業ではまず、「挨拶」の内容や作者が訴えたいことを、「詩を読み取る手順」に従って読み取らせ、そこに自分の考えも加えて紹介文を作らせる。同じ作業を、今度は自分が選んだ原爆の詩について行っていくことで、読み取る手順が身に付いていくと考える。読み取ることができたら、次はどのように表現すれば、作者や自分の考えが読む人に伝えられるかという課題に取り組ませる。自分で工夫することはもちろん、同じ詩の担当者グループで紹介文の下書きを読み合い、評価することは、課題を解決するヒントになるはずである。

6 単元の目標

○戦争や平和に関する詩や資料に関心を持ち、自分の考えを深めようとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

○論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。

【B書くこと イ】

○書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して表現に役立てることができる。

【B書くこと エ】

○語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読むことができる。

【C読むこと ア】

○文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価することができる。

【C読むこと ウ】

○文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つことができる。

【C読むこと エ】

○詩や収集した資料に用いられている漢字を正しく読むことができる。

【伝国 ウ(イ)】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
原爆に関する詩を読み取り平和について考え、作者や自分の考えを伝える紹介文を作る言語活動を通した指導			
①文章や資料に関心を持ち、自分の考えを持つとしている。 ②詩に関心を持ち、作者の思いを捉え、自分の考えを深めようとしている、	①論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書いている。(イ) ②書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して役立てている。(エ)	①語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読んでいる。(ア) ②文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。(ウ) ③文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。(エ)	①詩や収集した資料に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(イ))

8 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本単元の指導において取り入れる活動を通して、育成する資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
作者の思いを受け止め、それを伝える紹介文を作る活動	課題解決力	作者の思いをどのような形で伝えるか考え、紹介文を作っている。

9 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「原爆に関する詩を読み、それらのしを活用して平和について考え、紹介文にまとめる」ことを言語活動として設定する。詩の内容や作者や自分の考えを紹介文にまとめるためには、多方面から情報を得て、まとめることが必要になってくる。また、作者や自分の考えを読者に伝えるための表現の工夫も必要である。この活動によって、「B書くこと イ」の力を育むことが期待できる。

10 指導と評価の計画 (全7時間)

	学習内容	評 価					
		関	書	読	言	○評価基準 (評価方法)	★資質・能力の評価 (評価方法)
1	○好きな詩をお互いに紹介し合い、詩に込められた作者のメッセージやそれを伝えるための工夫(表現技法など)がされていることを理解する。 ○原爆の被害などの資料を読み、原爆投下についてあまり知らない人が増えている現状を考える。 課題の設定	○					
原爆に関する詩を読み取り平和について考え、作者や自分の考えを伝える詩の紹介文を作ろう							
2	○詩を読み取る手順を知り、手順に従って「挨拶」を読み取る。 情報収集 整理・分析			○	○	○次の三つの手順に従って、「挨拶」の内容を理解することができる。(ワークシート) ①5W1Hをヒントに、詩の内容をつかみ、作者のメッセージを考える。 ②工夫について考える。 ③資料も使いながら、背景を考える。	

3	○詩や資料から読み取ったことをもとに、紹介文を作る。 まとめ・創造・表現	◎		○詩や資料から得た情報をもとに作者や自分の考えが伝わるように工夫することができる。 (ワークシート)	★作者や自分の考えを伝えるためにどうしたらいいか考え、工夫することができる。 (ワークシート)
4	○班で紹介文を読み合い評価し合ったことをもとに、自分の文章を手直しする。 情報収集 整理・分析	○	○	○紹介文を読み合っ、作者や自分の考えを伝えることができているか評価することができる。 (発言・行動観察) ○評価をもとに手直しすることができる。 (ワークシート)	
5	○原爆の詩五編を、班の中で分担し詩を読み取る手順に従って、詩や資料を読み取る。 (本時) (個人→同じ詩の担当者グループ) 情報収集 整理・分析 ○読み取ったことをもとに、紹介文の下書きを作る。 まとめ・創造・表現	◎	○	○三つの手順に従って、分担した詩の内容を理解することができる。 (ワークシート) ○詩や資料から得た情報をもとに作者や自分の考えが伝わるように工夫することができる。 (ワークシート)	★作者や自分の考えを伝えるためにどうしたらいいか考え、工夫することができる。 (ワークシート)
6	○同じ詩の担当者同士で紹介文を読み合い評価し合ったことをもとに、自分の文章を手直しする。 情報収集 整理・分析	○	○	○紹介文を読み合っ、作者や自分の考えを伝えることができているか評価することができる。 (発言・行動観察) ○評価をもとに手直しすることができる。 (ワークシート)	
7	○紹介文を清書する。できたものは、図書室前に掲示し読み合う。 まとめ・創造・表現	○		○読む人が分かりやすいように清書している。(ワークシート)	

1 1 本時の展開

(1) 本時の目標

- 原爆の詩五編を、班の中で分担し詩を読み取る手順に従って、詩や資料を読み取る。
- 読み取ったことをもとに、紹介文の下書きを作る。

(2) 本時の評価規準

- 語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読むことができる。【C読むこと ア】
- 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。

【B書くこと イ】

(3) 資質・能力の評価基準

- 作者や自分の考えを伝えるためにどうしたらいいか考え、工夫することができる。【課題解決力】

(4) 準備物

ワークシート

(5) 本時の学習展開

	学習活動と主な発問	指導上の留意点 (◆配慮を要する生徒への支援)	評価規準 (評価方法) ☆観点別評価 ★資質・能力の評価
導入	○原爆の詩五編を読み、班で担当する詩を決める。(10分)	◇「挨拶」以外の詩に、関心を持たせる。	
	詩や資料を読み取り、作者や自分の考えを伝える紹介文の下書きを作ろう		
展開	○まず個人で詩や資料を読み、詩の内容や作者の訴えたいことを考え、ワークシートに記入していく。(10分) ○同じ詩の担当者が集まって、ワークシートに書いたことを発表し合う。(10分) ○ワークシートに書き込んだことをもとに、紹介文の下書きを書く。(15分)	◇詩を読み取る三つの手順に従って読み取らせる。 ◆「挨拶」でやったやり方をワークシートで一緒に確認しながら、同じように取り組ませる。 ◇他の意見を聞いて参考になったことをワークシートに書き加えさせる。 ◇作者や自分の考えが、上手く伝わるように書き方(紹介の文章やキャッチコピー)を考えさせる。 ◆「挨拶」でやったやり方をワークシートで一緒に確認しながら、同じように取り組ませる。	☆【読む能力】 ○詩の内容、作者のメッセージ、表現の工夫、背景について詩や資料から読み取っている。(ワークシート) ☆【書く能力】 ★【課題解決】 ○作者や自分の考えが伝わるように工夫して書いている。(ワークシート)
まとめ	○今日の評価(5分) [振り返りの視点] ①手順に従って詩や資料を読み取ったか。 ②工夫して下書きを書いたか。 ○次時の予告	○視点に従って振り返り用紙に記入させる。 ○下書きを読み合い評価し合うことを伝える。	

